

放送番組の海外展開から、
日本の製品・サービスの
ビジネス普及拡大へ

一般社団法人 放送コンテンツ海外展開促進機構



BEAJ
Broadcast Program
Export Association of Japan

一般社団法人 放送コンテンツ海外展開促進機構 (BEAJ)

平成30年2月

1. 概要

日本の放送局や権利者団体、大手商社などが中心となり、日本のテレビ番組の海外展開促進を目的として2013年8月23日に設立。

2. 構成

理事長	岡素之（住友商事株式会社 相談役）	
理事社	放送局	NHK、日本テレビ放送網、テレビ朝日、TBSテレビ、テレビ東京ホールディングス、フジテレビジョン、スカパーJ S A T、WOWOW
	権利者団体	日本音楽事業者協会、日本芸能実演家団体協議会、日本レコード協会、映像コンテンツ権利処理機構
	関係業界	住友商事、伊藤忠商事、電通、博報堂D Yメディアパートナーズ、日本民間放送連盟

3. 会員社： 55社（2018年1月末現在）

4. 運営： 会員社からの会費収入と事業収入で運営

5. 当面の戦略：

- ASEAN主要国において、地上波等の効果的なメディアで放送枠を確保し、魅力ある日本の放送コンテンツを継続的に放送する。
- このために国家予算も最大限活用しつつ官民連携オールジャパン・ワンチーム体制で取り組む

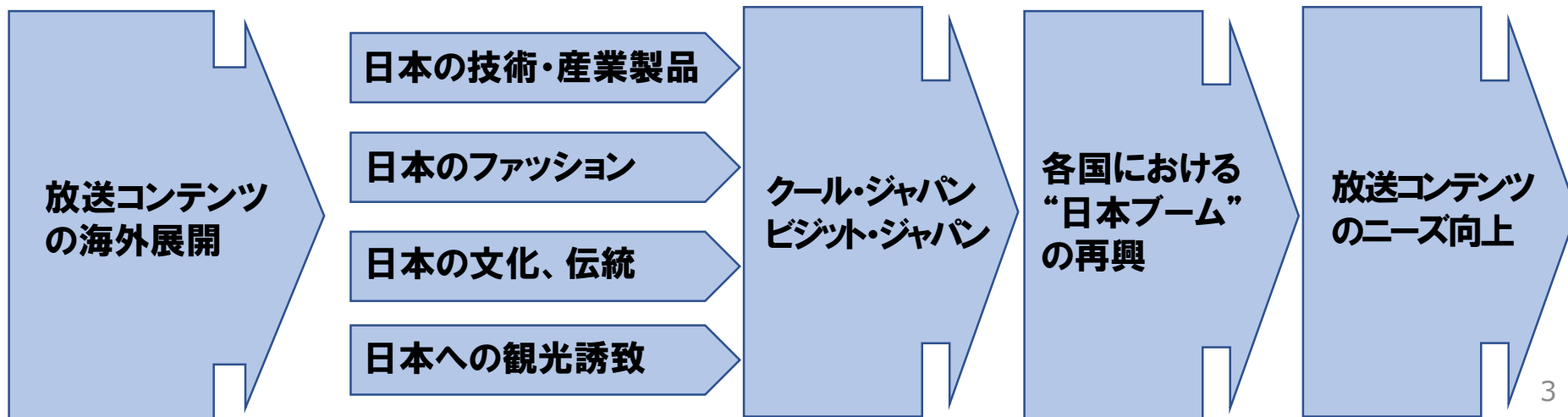
放送コンテンツの海外展開に対して、国の経済的なサポートを受けつつ、日本の放送コンテンツの国際競争力の向上を促進。アジアを中心とする各国での放送枠の大幅拡大を図る。



これにより、日本の技術、産業製品やファッション、文化、伝統、日本語などへの関心を向上させ、「クール・ジャパン戦略」に貢献するとともに、観光客の誘致への波及効果を引き出し、「ビジット・ジャパン戦略」にも寄与する。



「クール・ジャパン」「ビジット・ジャパン」の活性化により“日本ブーム”を創出させ、それによって日本の放送コンテンツへのニーズが高まるような『好循環構造』を構築する。



会員社リスト

(2018年1月末)

社員/非営利団体	企業・団体	社員/非営利団体	企業・団体
1 法人	スカパー J S A T 株式会社	29 非営利団体	一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟 (ATP)
2 法人	住友商事株式会社	30 法人	東海テレビ放送株式会社
3 法人	株式会社テレビ朝日	31 法人	北海道放送株式会社
4 法人	株式会社テレビ東京ホールディングス	32 法人	中京テレビ放送株式会社
5 法人	株式会社電通	33 非営利団体	一般社団法人日本音楽出版協会
6 法人	株式会社 T B S テレビ	34 法人	株式会社 WOWOW プラス
7 非営利団体	一般財団法人日本音楽事業者協会	35 法人	日活株式会社
8 非営利団体	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会	36 法人	株式会社 C B C テレビ
9 法人	日本テレビ放送網株式会社	37 法人	北海道文化放送株式会社
10 法人	日本放送協会	38 非営利団体	特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミッション
11 非営利団体	一般財団法人日本民間放送連盟	39 非営利団体	一般社団法人日本音楽制作者連盟
12 非営利団体	一般財団法人日本レコード協会	40 法人	株式会社日経映像
13 法人	株式会社博報堂 D Y メディアパートナーズ	41 法人	株式会社日テレアクセス
14 法人	株式会社フジテレビジョン	42 非営利団体	一般社団法人映像コンテンツ権利処理機構
15 法人	株式会社 WOWOW	43 法人	Dolby Japan 株式会社
16 法人	伊藤忠商事株式会社	44 法人	株式会社共同テレビジョン
17 法人	九州朝日放送株式会社	45 法人	株式会社テレビ新広島
18 法人	札幌テレビ放送株式会社	46 法人	株式会社毎日放送
19 法人	株式会社 J リーグメディアプロモーション	47 法人	名古屋テレビ放送株式会社
20 非営利団体	一般社団法人日本動画協会	48 法人	株式会社福岡放送
21 法人	東京メトロポリタンテレビジョン株式会社	49 法人	RKB 毎日放送株式会社
22 非営利団体	一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟	50 法人	大分朝日放送株式会社
23 法人	北海道テレビ放送株式会社	51 法人	株式会社テレビ金沢
24 法人	朝日放送株式会社	52 法人	株式会社山形テレビ
25 法人	株式会社三菱総合研究所	53 法人	株式会社テレビユー福島
26 非営利団体	一般財団法人音楽産業・文化振興財団 (通称 PROMIC)	54 法人	株式会社テレビユー山形
27 法人	讀賣テレビ放送株式会社	55 法人	株式会社東北新社
28 法人	関西テレビ放送株式会社		

平成29年度 総務省

放送コンテンツ海外展開モデル事業報告

平成29年度 採択案件一覧（大規模型 21件）

- 「祭り」、「テクノロジー」などをテーマに日本海エリアの様々な文化・魅力を紹介する番組。
（山形テレビ・テレビ朝日系列日本海側4局）
- 東京近郊地域である静岡、長野、福島の魅力をもつ、ミャンマーとの絆をテーマに伝える番組。
（静岡朝日テレビ）

- 日本のソウルフード「おにぎり」をテーマに、各地の具材や観光情報を紹介する番組。（北海道文化放送・フジテレビ系列ローカル局連合）
- プミポン前国王の訪日時の足跡を辿り、エピソードを通じて日本の魅力を紹介する番組。
（テレビ朝日）
- 「日本の食材」をテーマに「調理や生産の技術」を紹介し、日本の魅力を伝える料理番組。
（日本テレビ系列四国連合・日活）
- 日本を代表する料理人監修の下、和食を科学的に分析し、タイの食文化と和える番組。
（毎日放送）
- 広域観光周遊ルート「昇龍道」の「通」なスポット・食・土産・文化などを紹介する番組。
（CBCテレビ・TBS-HD）
- 日本人とタイ人パティシエの交流を通して、スイーツカルチャーの本質を描く番組。（テレビ金沢・日本テレビ系列ローカル局連合）
- 「日本のアニメ聖地88」を巡り、日本ならではの文化、地域の魅力を紹介する番組。
（アニメツーリズム協会）
- タイ出身のJリーグ選手を取材しJリーグ各クラブのホームタウンを紹介。（伊藤忠商事）

＜ベトナム・ミャンマー＞

- 日本で人気の幼児番組のベトナム版及び日本を舞台にしたミャンマー人家族のドラマ。
（日本国際放送）

＜インドネシア・タイ・ベトナム・ミャンマー＞

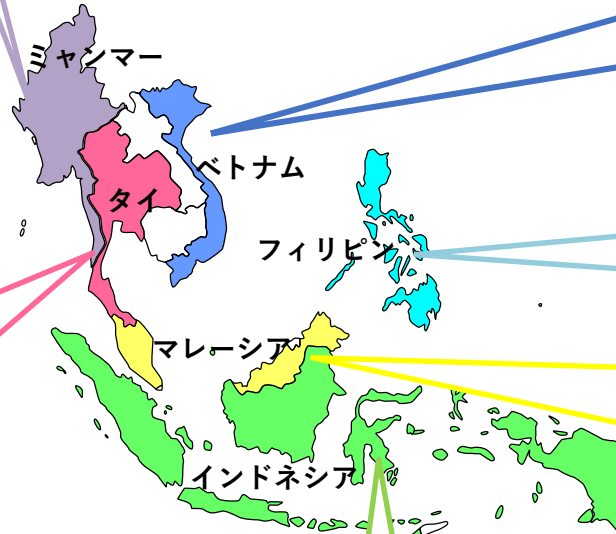
- 日本や日本語に対する興味喚起を目的とした親子で楽しく学べる日本語教育番組。
（WAKUWAKU JAPAN）

- 日本各地を豪華と質素の2通りの旅で巡り、文化・歴史などを紹介する情報番組。
（関西テレビ・石川テレビ・新潟総合テレビ）
- 「ニッポン体験」をテーマに在日ベトナム人が「旅」を通じて日本各地の魅力を紹介する番組。
（TBSテレビ）
- 「国際結婚夫婦」をテーマに、日本人への信頼感、日本の環境の良さなどを紹介する番組。
（朝日放送・大分朝日放送）
- 日本のローカルエリアの魅力をクイズ形式で紹介していく番組。（Journal Entertainment Tribute(JNN系ローカル8局コンソーシアム）

- 富裕層・知識人層および若年層をターゲットに、観光・ビジネス情報を発信する番組。
（フジテレビジョン・テレビ熊本）

- 華僑をターゲットにしたSNS連動型食バラエティ番組「日本編」。
（日本テレビ放送網）
- ドローン映像を駆使して、クルーズ船寄港地などの日本海地域の観光資源を紹介する番組。（山陰中央テレビジョン）

- スタジオジブリの作品世界を入り口に、イメージとなった地域に誘う番組。（博報堂）
- 鉄道で巡る「東北・北海道」旅行の魅力・日本が誇る新幹線の技術を伝える番組。
（ジェイアール東日本企画・IVSテレビ・北海道テレビ）



1. アニメの聖地巡礼

博報堂：スタジオジブリ作品

アニメツーリズム協会：「君の名は。」「ユーリ!!! on ICE」など

2. 教育関連番組

日本国際放送：日本で人気の幼児教育番組のベトナム版

WAKUWAKU JAPAN：親子で楽しく学べる日本語教育番組

フジテレビジョン：ミンダナオ国際大学の日本語教育を紹介

3. 一流の職人とのコラボレーション

毎日放送：和食 / 村田吉弘氏（菊乃井）

テレビ金沢：スイーツ / 辻口博啓氏

- のべ20件を視察し、レポートを作成。
- 共同制作の体制、ロケ隊の構成、使用機材、ロケ実施の特徴・工夫・課題点などを確認。

1. 共同制作の様々な形

双方がカメラを出す。

海外からクルーが来日し、日本側がサポート。

日本クルーと海外クルーが個別に撮影。

日本クルーが撮影し、海外で編集→完パケ。

2. 使用機材

日本はENG、海外は一眼レフやスマートフォン、GoProなどが中心

1. インフルエンサーを活用した積極的な情報発信

JR東日本企画：仲川遥香さん（フォロワー約140万人）

静岡朝日テレビ：モー・セット・ワインさん（同約28万人）

日本テレビ：英語と中国語のインフルエンサーがロケに同行。

多くのロケ現場で、撮影の合間に出演者やスタッフがSNSを更新。

→ リアルタイムで情報を発信し、番組のプロモーションに活用。

2. その他のSNSの活用事例

日活：タイにいるスタッフからの指示の伝達や撮影内容の確認。

テレビ朝日：LINE TVで番組を再放送。1400万回以上の再生。

<ミャンマー>

- 元ミスユニバース・ミャンマー代表が日本の文化や農業、最新技術などを体験し紹介する番組 (テレビ朝日)
- 日本海に面する各地の身近な日本食を中心に地域産品・文化などを紹介する番組 (山形テレビ・テレビ朝日系列 日本海5局コンソーシアム)

<ベトナム/ミャンマー>

- ベトナム向けの幼児教育番組、およびミャンマー人料理人が日本各地の食材を取材し、自国風に調理する番組 (日本国際放送)

<ベトナム>

- 日・ベトナムの料理人が日本食材を使った料理を創作する食文化交流番組 (博報堂DYMPおよび日本テレビ系ローカル局)
- 在日ベトナム人の元を訪ね、その暮らしと住んでいる地域を紹介する過程で日本の魅力を伝える番組 (朝日放送)
- ベトナム人リポーターが地域の食材を求めて日本を訪ねる料理バラエティ番組 (TBSテレビ)
- ベトナム人ナビゲーターが来日し、毎回のテーマに沿って「発見」「驚き」「学び」ながら日本の魅力を伝える体験文化型情報番組 (杉友)

<タイ>

- タイからの家族旅行を促進するファミリー紀行番組。着ぐるみの体当たりロケやアニメを交え、観光地、玩具、グルメやスイーツ等を紹介 (東京放送ホールディングス/博報堂DYMP)
- 日本の食材を用いた料理を披露するフードバラエティ番組 (日活)
- ローカル局と連携し、各地の観光スポットや地域産品などを紹介する番組 (未来のテレビを考える会)

<インドネシア>

- JKT48が九州を中心に日本の地方の魅力を紹介する番組、及び、日本の地方を日尼の俳優がめぐり日本産品を取上げながら日本の文化・観光を紹介する番組 (東京MX/電通)
- インドネシアのモデルが、日本のファッションショーへの出場を目指す過程で、日本のファッション等を紹介する番組 (ワグワグIイティブコーポレーション)

<フィリピン>

- 現地の代表的な総合情報エンターテイメント番組内で日本のファッション、グルメ、テクノロジーなどを紹介する番組 (フジテレビジョン)

<マレーシア>

- 現地の人気コメディドラマ内で、新たに日本人キャストを登場させ、ドラマの展開に沿って毎回日本産品を紹介する番組 (日本テレビ/住友商事)

複数国にまたがる放送事業

<インドネシア/タイ/ミャンマー/シンガポール>

- 大学街の魅力を留学生目線で取材し紹介する番組 (WAKUWAKU JAPAN)

平成27年度補正予算による事業⇒「TPP協定の活用促進による新たな市場開拓」を踏まえ、日本の商品・サービス・観光資源など、日本の魅力を発信する番組を放送

第2回 日アセアンテレビ祭2017

第2回 日アセアンテレビ祭2017

BEAJ
Broadcast Program Export Association of Japan

第2回 日ASEANテレビ祭 2017

日程：9月7日～9月9日

場所：SEDA Vertis North Hotel, Quezon City (マニラ)

運営：フィリピン大統領府コミュニケーショングループ / フィリピン国営放送 (PTV) / 総務省 /
放送コンテンツ海外展開促進機構 (BEAJ)

後援：外務省

協力：日・ASEAN統合基金 / 東南諸国アジア連合事務局 (ASEAN Secretariat)



第2回 日ASEANテレビ祭 2017 - パブリック・イベント (及びレセプション)

日程：9月9日

場所：TriNoma Mall, Activity Center, Quezon City (マニラ)

運営：フィリピン大統領府コミュニケーショングループ / フィリピン国営放送 (PTV) / 総務省 /
放送コンテンツ海外展開促進機構 (BEAJ)

後援：外務省

協力：日・ASEAN統合基金 / 東南諸国アジア連合事務局 (ASEAN Secretariat)

補助：J-LOP4



日アセアンテレビ祭 結果など

オープニング・スピーチ

アンダナール広報業務担当大臣（フィリピン）
石川在フィリピン日本大使（当時）

統計結果

EXHIBITIONには地元ABS-CBN、GMA
などを 含む約700人の放送関係者が訪れた。



日アセアンテレビ祭 パブリック・イベント 結果など

クロージング・スピーチ

アンダナール広報業務担当大臣（フィリピン）
富永総務審議官



主なメディア露出

NHKオンライン、HTB「ビジネスウィークリー」
パブリック・イベント録画放送2回（PTV 9月23日、10月7日）



統計結果

メディア・リーチ 127,229,350人（PTV報告）
パブリック・イベント集客 20,000人（PTV報告）
出演者によるSNSリーチ 2,084,653人（PTV報告）



国際的な番組見本市での取り組み

1. MIPCOM2017



- 会期：2017年10月16日～19日
- 会場：フランス・カンヌ
- 参加国：110ヶ国
- 来場者：9,000人

2. TIFFCOM2017



- 会期：2017年10月24～26日
- 会場：池袋サンシャインシティ
- 参加国：出展27ヶ国 / バイヤー48ヶ国
- 来場者 = 19,549人

3. ATF2017



- 会期：2017年11月29日～12月1日
- 会場：シンガポール
- 参加国：出展 = 54ヶ国 / バイヤー = 37ヶ国
- 来場者：5,498人
- 日本からの出展者数：47社

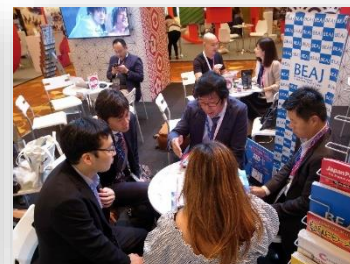
4. 香港Filmart (予定)



- 会期：2018年3月19日(月)～3月22日(木)
- 会場：香港
Hong Kong Convention & Exhibition Centre

国際見本市で放送コンテンツの海外展開促進支援

- 海外バイヤーに対して「JAPAN Program Catalog」のデモンストレーションを行い、日本コンテンツへの興味喚起から登録促進。
- 出展するローカル局、ケーブルテレビ関連事業者に対し、見本市等に参加経験のない事業者や海外番組販売経験のない事業者に、バイヤーとのマッチング・名刺交換等に関する支援、通訳提供、アドバイスを行う等により、円滑な見本市への参加と活用を支援。
- MIPCOMに参加していないBEAJ会員社の海外番販用チラシやパンフレットの設置・配布を行うのみならず、興味のあるバイヤーとの橋渡し。



- 大規模型モデル事業を題材に、共同制作や海外向け番組制作に関するセミナー開催。国内外の事業者にもモデル事業について周知のみならず、BEAJの役割や日本の放送コンテンツ事業者との共同事業を促した。

- 日時：2017年10月25日（水）13:00～14:30
- 会場：池袋サンシャインシティ カンファレンスルーム2
- 聴衆：約70名（詳細後述）

➤ テーマ：

「知的財産戦略としての放送コンテンツ『第2章』へ日本ファンのすそ野を拡大させる教育コンテンツ」

➤ 登壇者（登壇順・敬称略）

- 三原祥二（総務省 情報流通行政局 情報通信作品振興課 放送コンテンツ海外流通推進室長）
- 坂上浩子（NHKエデュケーショナル 取締役）
- 和田のり子（TBSテレビ メディアビジネス局 海外事業部担当 局次長）
- 笠井昌章（WAKUWAKU Japan 編成・制作チーム ゼネラルプロデューサー）

➤ モデレーター

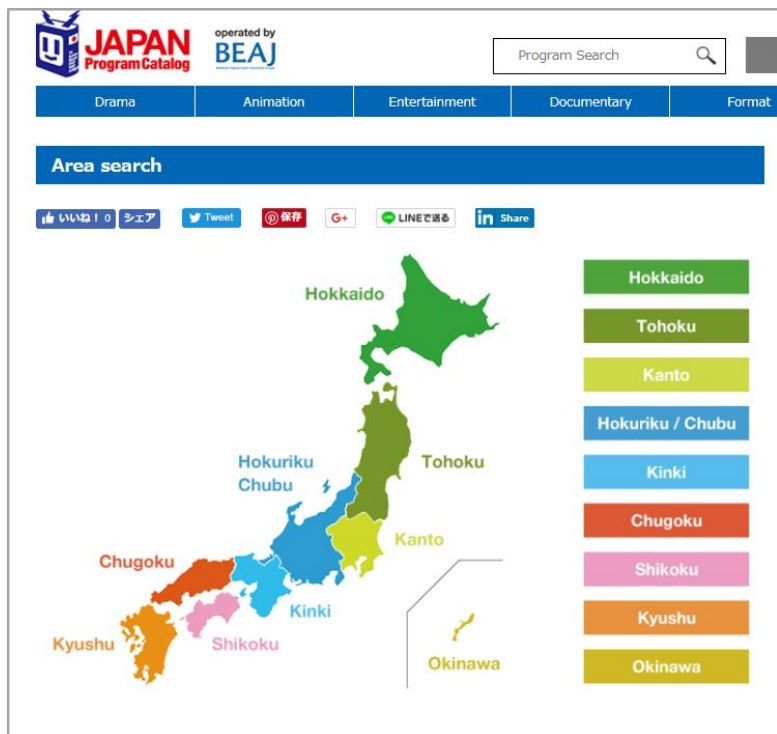
- 五味大輔（BEAJ事務局）



海外向け番組オンラインカタログの運営

JAPAN Program Catalogについて

JAPAN Program Catalog (JPC) は、放送コンテンツ海外展開促進機構 (BEAJ) が2017年4月から運営を開始した海外販売向け放送コンテンツのオンラインカタログサービス。エリア別、ジャンル別などでコンテンツの検索が可能。



日本地図をクリックすれば各地の放送局が制作した海外向けの番組をチェックすることができる。

<http://japan-programcatalog.com/en/>



会員社を中心に32社が合計833番組を掲載
(2018年1月末現在)

www.japan-programcatalog.com

Japan Program Catalog

- The Biggest Japanese TV Online Showcase -

SIGN UP!
for your smartphone
for your PC : goo.gl/XDyNL6

DRAMA
ANIMATION
FORMAT
LOCAL
MOVIE
DOCUMENTARY
ENTERTAINMENT

BEAJ
Broadcast Program Export Association of Japan
https://www.beaj.jp/

サービスコンセプト

■ **放送番組の海外展開の「お役立ちツール」**
国内の放送事業者等にとっては放送番組の海外発信、展開に役立つオンラインカタログサービスとして機能充実。

■ **海外向け放送番組の「ワンストップチェックサイト」**
海外バイヤーにとっては日本全国の地方局の放送コンテンツも集められているため、ワンストップでの日本の放送番組探しが可能な便利なカタログサイトとして機能。日本最大級のTV番組カタログサイトとしての存在感。

■ **「プレゼンテーションツール」としての活用**
TIFFCOM、ATF、MIPCOM等のコンテンツ見本市への出展や海外バイヤーへのセールスの際、本サイトが紙カタログに代わるデジタルプレゼンツールになるよう開発・設計。パソコン画面だけでなくタブレット端末、スマートフォンにも最適化されいつでもどこでもプレゼンを可能に。

■ **「簡単操作」で番組データを管理**
マニュアルに沿って自社パソコンから簡単に番組のアップロードや更新・削除が可能。

1. JAPAN Program Catalog ウェブサイトアクセス状況 (2017年4月1日 ~ 2018年1月31日)

セッション
13,281



ユーザー
10,360



ページビュー数
30,766



ページ/セッション
2.32



平均セッション時間
00:01:55



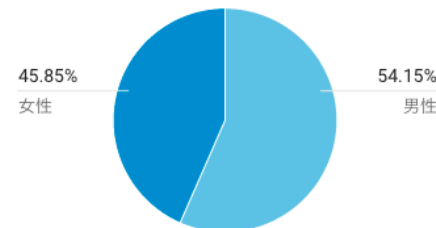
直帰率
72.07%



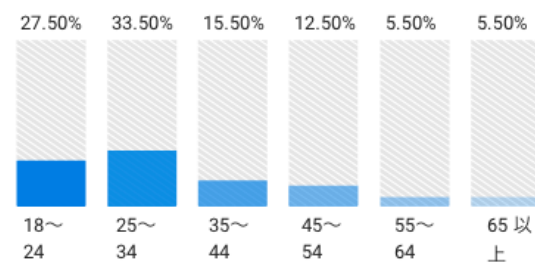
新規セッション率
77.95%



性別 合計セッションの100%



年齢 合計セッションの100%



2. JPCへのバイヤー登録状況 合計370名 (2018年1月現在)

3. 新規登録バイヤー 29名 (2017年4月1日 ~ 2018年1月31日)

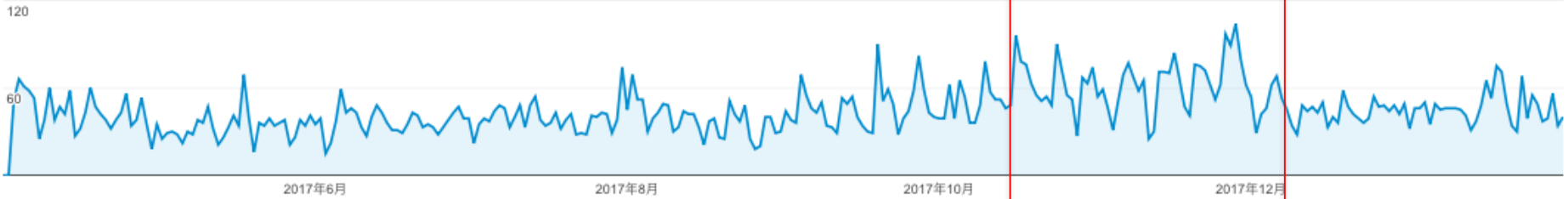
インド: 6名 / 中国: 3名 / ドイツ: 3名 / 韓国・アメリカ: 各2名 / インドネシア・イタリア・デンマーク・ロシア・タイ・台湾・香港・ウクライナ・メキシコ: 各1名

※ バイヤーの国別集計は2017年5月以降に必須登録事項としたため5月以前のバイヤーの国情報は未取得

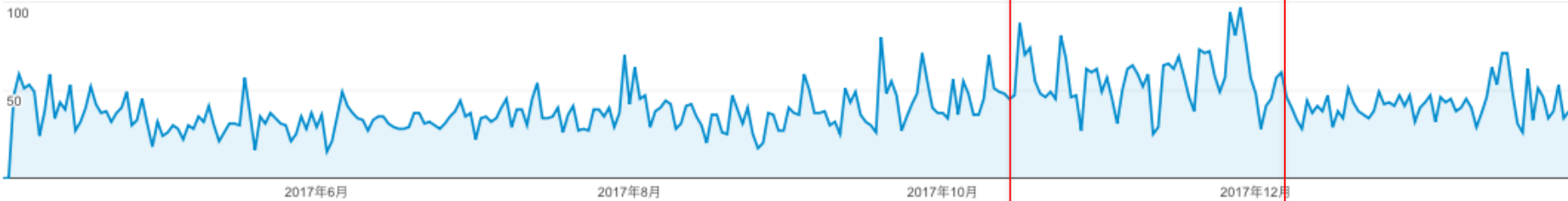
JPCへのアクセス状況の推移

MIPCOM、TIFFCOM、ATF開催期間

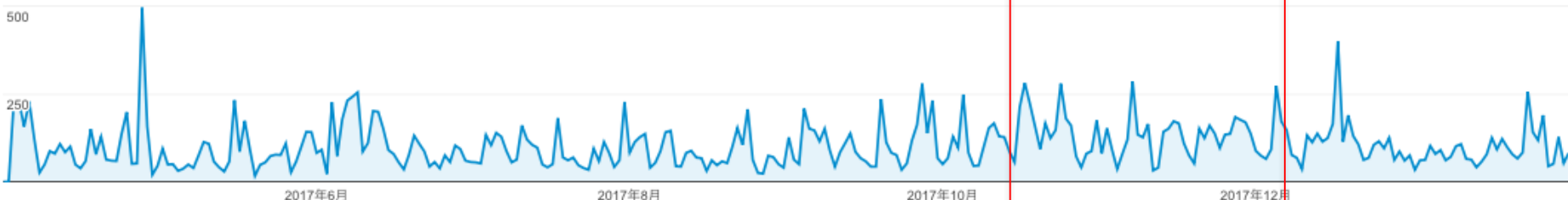
セッション



ユーザー



ページビュー



JAPAN Program Catalogのプロモーションを積極展開した国際見本市の開催期間中はセッション数、ページビュー数等が上昇。期間中に計112か国からのアクセスを記録。

国別アクセス状況

北米、東南アジア諸国、インド、MIPCOM開催地のフランス等が上位で日本のコンテンツに対するニーズの高さがうかがえる。トップ10圏外の中国は平均セッション時間が4分以上で最長。

国 ?	集客			行動		
	セッション ? ↓	新規セッション率 ?	新規ユーザー ?	直帰率 ?	ページ/セッション ?	平均セッション時間 ?
	13,698 全体に対する割合: 100.00% (13,698)	78.11% ビューの平均: 78.04% (0.09%)	10,700 全体に対する割合: 100.09% (10,690)	72.11% ビューの平均: 72.11% (0.00%)	2.32 ビューの平均: 2.32 (0.00%)	00:01:55 ビューの平均: 00:01:55 (0.00%)
1. Japan	3,773 (27.54%)	55.66%	2,100 (19.63%)	55.98%	3.95	00:04:06
2. United States	1,295 (9.45%)	91.81%	1,189 (11.11%)	82.86%	1.45	00:00:46
3. Indonesia	938 (6.85%)	91.26%	856 (8.00%)	84.65%	1.29	00:00:31
4. Singapore	719 (5.25%)	83.17%	598 (5.59%)	78.16%	1.72	00:01:15
5. Taiwan	684 (4.99%)	78.22%	535 (5.00%)	81.58%	1.49	00:00:46
6. India	630 (4.60%)	89.21%	562 (5.25%)	77.78%	1.78	00:00:53
7. Malaysia	614 (4.48%)	91.86%	564 (5.27%)	79.48%	1.42	00:00:55
8. Thailand	554 (4.04%)	88.45%	490 (4.58%)	75.27%	1.91	00:01:22
9. France	517 (3.77%)	92.07%	476 (4.45%)	86.27%	1.39	00:00:27
10. South Korea	477 (3.48%)	79.45%	379 (3.54%)	67.51%	3.40	00:02:18

BEAJ海外情報レポートの発行









◆目的

放送コンテンツの海外展開の推進にあたっては、各国のメディアやコンテンツに係る最新の情報を継続的に収集し、今後の海外展開戦略立案に反映することが不可欠。

BEAJ海外情報レポートの発行

- ◆日本の放送コンテンツの海外展開を一層促進させることを目的に、ASEAN各国のメディアやコンテンツに係る最新情報を、在外公館などの協力を得ながら収集・分析し報告書を作成。（2017年度 全5回発行）
- ◆これからコンテンツの海外展開を予定している地方局や制作会社等にも役立つ情報を掲載。
- ◆調査対象国はASEAN域内で訪日需要が多く、日本のコンテンツへの好意度が高い国を選定。今後成長が見込まれる国も一部加え6か国で調査を実施。

【調査対象国】：6か国

						
国名	インドネシア	タイ	フィリピン	ベトナム	マレーシア	ミャンマー
人口	2億5500万人	6572万人	1億98万人	9270万人	3119万人	5141万人
名目GDP (1人当たり)	3605ドル	6033ドル	2947ドル	2215ドル	9360ドル	1307ドル

対象国におけるメディア状況の調査

- 対象国のメディア一般事情、放送番組の流通状況
- メディア関連制度・メディア規制、商習慣
- 日本の放送コンテンツ海外展開に資する情報や最新動向と国際共同制作の状況
- ASEAN6ヶ国生活者の声（独自のアンケート調査）

クール・ジャパン関連調査

- クール・ジャパン関連イベントの開催状況・結果
- 日系企業及び日本関連ビジネスの現地情報
- 日本ブランドの展開状況及び現地ニーズ
- 一般的なビジネス環境（法規制や商習慣）
- 放送コンテンツと連動した事業等の当該関連情報
- 放送コンテンツの海外展開と連動した事業展開に資する関連情報と最新動向

レポートの発行スケジュール

2017年10月	ASEAN6ヶ国市場概況・放送事情
11月	タイ・ミャンマー編
12月	ベトナム編
2018年 1月	インドネシア・マレーシア編
2月	フィリピン編

情報の整理・報告

- メディア状況調査、クール・ジャパン関連調査を整理・分析し体系化してレポートを作成
- レポートの発行は月1回程度
今年度は計5回を予定
- レポートの配信先はBEAJ会員社
特にこれから海外展開を計画している
地方局等に有益な情報を厳選して掲載



目標の達成

- クール・ジャパン、ビジット・ジャパン、地方創生等の国家戦略への寄与
- 放送コンテンツ関連海外売上高を2015年度の288億円から2020年度には500億円に拡大

御清聴ありがとうございました